

競技注意事項および参加校（参加チーム）連絡

- 2019 日本陸上競技連盟規則・記録会要項によって行う。
- ウォーミングアップ会場は、競技に支障のない範囲でトラックを開放する。
砲丸投げの練習は安全のために公式練習のみとする。
- 競技者は規定のナンバーカードをユニホームの背と胸につける。ただし、走高跳の競技者は、背または胸の片側だけでよい。（小学生はナンバーカードをつけなくてもよい）トラック競技出場者は、腰ナンバー標識を右腰につける。腰ナンバー標識については、各校で準備する。（小学生は主催者で貸し出す）
1000mは主催者で用意する。（競技終了直後、確実に返却すること）
- 招集・点呼は次のように行う。
 - 招集はすべて現地で行う。リレーについても全走者がスタート地点に集合する。**
 - 2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめその旨を本人または代理人が当該競技の招集完了時刻前に役員（競技者係兼出発係）に申し出る。
 - 招集時刻については下記の通り。

トラック競技	フィールド競技
競技開始 15 分前 招集開始	競技開始 20 分前 招集開始
競技開始 10 分前 招集完了	競技開始 10 分前 招集完了

- 招集点呼に遅れた者は競技に出場できないことがある。
 - 競技を棄権する場合は、本人または代理人が総務と競技者係兼出発係(フィールド種目については担当の競技役員)に申し出る。**
- 競技方法について
 - トラック競技はタイムレース決勝とする。
 - 砲丸投の試技は3回までとする。
 - トラック競技とフィールド競技の時間が重なった場合は、トラック競技を優先とする。
必ずフィールド競技の役員に申し出てから、トラック競技へ移動する。
 - リレーのオーダー用紙は競技開始1時間前までに1部、総務に提出する。男女2名ずつエントリーできないチームはオープン参加扱いとする。
 - 砲丸は、男子4.000kg、女子2.721kgを使用する。
 - 走高跳のバーの上げ方は次の通りとする。ただし、状況により変更することもある。
男子；練習 1m25 1m30-1m35-1m40-1m45-(中略)-1m60-1m63- 以後3cmきざみ
女子；練習 1m05 1m10-1m15-1m20-1m25-(中略)-1m40-1m43- 以後3cmきざみ

7 用器具は競技場備え付けのものを使用する。

8 その他

- 競技中に発生した傷害、疾病、事故等について主催者は応急処置等を行うが、その後の責任は負わない。**主催者では「傷害補償」等には加入しないので、各団体・個人で加入することを推奨する。**
- 貴重品等の管理は各校・団体・個人で行うこと。盗難被害や駐車場等での事故についても主催者は責任を負わない。